

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 SNOW PLUM	代表者	毛利 友紀	法人・ 事業所 の特徴	介護保険事業として訪問介護、通所介護、居宅介護支援事業所を併設。 独自事業として介護タクシー、再度山には民泊施設 神戸一里山別邸を展開。 自社内厨房で調理した手作りの食事、地域の方との交流、外出活動を通し 心身の健康が図れるよう取り組んでいる。
事業所名	PLUM の里	管理者	山下 由紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	1人	人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	毎月のミーティングでの事例発表を継続して行う。 日常で得た情報をタイムリーに報告、ケアプランとの整合性を図る。	日頃得た情報はタイムリーな共有ができた。 ミーティングでのカンファレンスを通し事例について話し合う事ができた。	客観的な評価を通し自分たちの課題やするべき事を知る良い機会である。	地域の方へアピールする為にも運営推進会議をもっと活用したい。
B. 事業所のしつらえ・環境	立地条件は変更不可能である為、案内する時の説明を工夫していく。	インターホンの横に案内を設置した。 案内時の説明は丁寧に行っている	事故防止の観点から中から開錠してもらわないと扉が開かない構造は変えるのが困難である。 建物入口にインターホンの案内を設置するなど改善がみられた。	ご案内する際の説明は丁寧に行い地域の方に浸透するように工夫する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方は気軽に立ち寄れる場所となるようイベントを行う前には近所にお知らせをする。地域のイベントを調べ参加するよう努める。	近隣の保育所からは焼き芋パーティーのお誘いを頂き参加する事ができた。地域の方へ浴室を開放し使用して頂いている。	施設の設備を有効活用できている、との意見が出た。	ホームページの活用 ポスター掲示のできる場所の開拓
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	昨年作成したエコマップを更に詳しく大きくしていく。 定期的な外出支援活動は継続していく。	地域の方がボランティアとして参加する外出計画を立て実行している。	ボランティアの方との繋がりが大きいとの意見が出た。 ボランティア活動を通し活躍したい方への呼びかけも大切。	訪問サービスの支援を通し利用者と地域の人との繋がりが切れないよう働きかけを行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	あんすこや地域の方からの情報を集め会議をさらに活かしていくよう努める。	あんすこで受け入れた具体的な事例について聞く事ができたが集めた情報が自社の事業に直接影響したとは言えない。	運営推進会議の場で避難訓練の告知や事業所のイベント事のお知らせもして良いと思うとの意見が出た。	運営推進会議の場では報告だけでなくイベント事や避難訓練の事前告知、小規模の施設の活用例などの情報を発信していく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>早めに防災訓練日を設定し計画的に訓練を実施する。夜間の防災訓練実施も実現できるよう計画を立てる。</p>	<p>計画的に訓練を実施し実りのある防災訓練となった。 消火体験を通じより実践的な訓練を行う事ができた。</p>	<p>火災、災害の時は近隣との連携が不可欠であろう。 災害時にはスタッフも被災している可能性がある事から日頃の備えが大切との意見が出された。</p>	<p>計画的に訓練を行う、参加できるスタッフを増やす意味合いでも年間複数回の訓練実施を目指したい。</p>
----------------------------	---	--	--	---